




月心グループ

「おばあちゃんはずっと見守り続ける」

.....
少しおなかがふっくらされた若い女性
.....

.....
枕元に座り涙を流されていました
.....

.....
私の夢はおばあちゃんに私のウェディング姿を
.....

.....
見てもらう事とひ孫を抱いてもらう事でした…
.....

.....
ご納棺の時、胸の上で組まれたおばあちゃんの手
.....

.....
そっとおなかを近づけて「おばあちゃん…」
.....

.....
と声をかけられていました
.....

.....
「抱いてもらう事はできなかったけど、
.....

.....
さわって感じてもらう事はできました」
.....

.....
「おばあちゃんはずっと見守って下さいますね」
.....

.....
私も涙が止まりませんでした
.....

葬儀というのは悲しい時間だけれど
温かい家族の時間にふれさせて頂けます。
こんなに感謝する事を考えさせて頂ける
お仕事は他にはないですね。

（株）公益社 葬祭部
月心会館 空港通り 担当者より



「ご家族が息を引き取る瞬間」

いつ訪れるかわからないご家族との別れを

こころ深くお見送りするための時間や安心感…

父を囲んで静かに時間を共有できる場は

ほんのわずかしかなかった

息を引き取る瞬間は

ほかのことには一切気を遣わず看取りに集中し

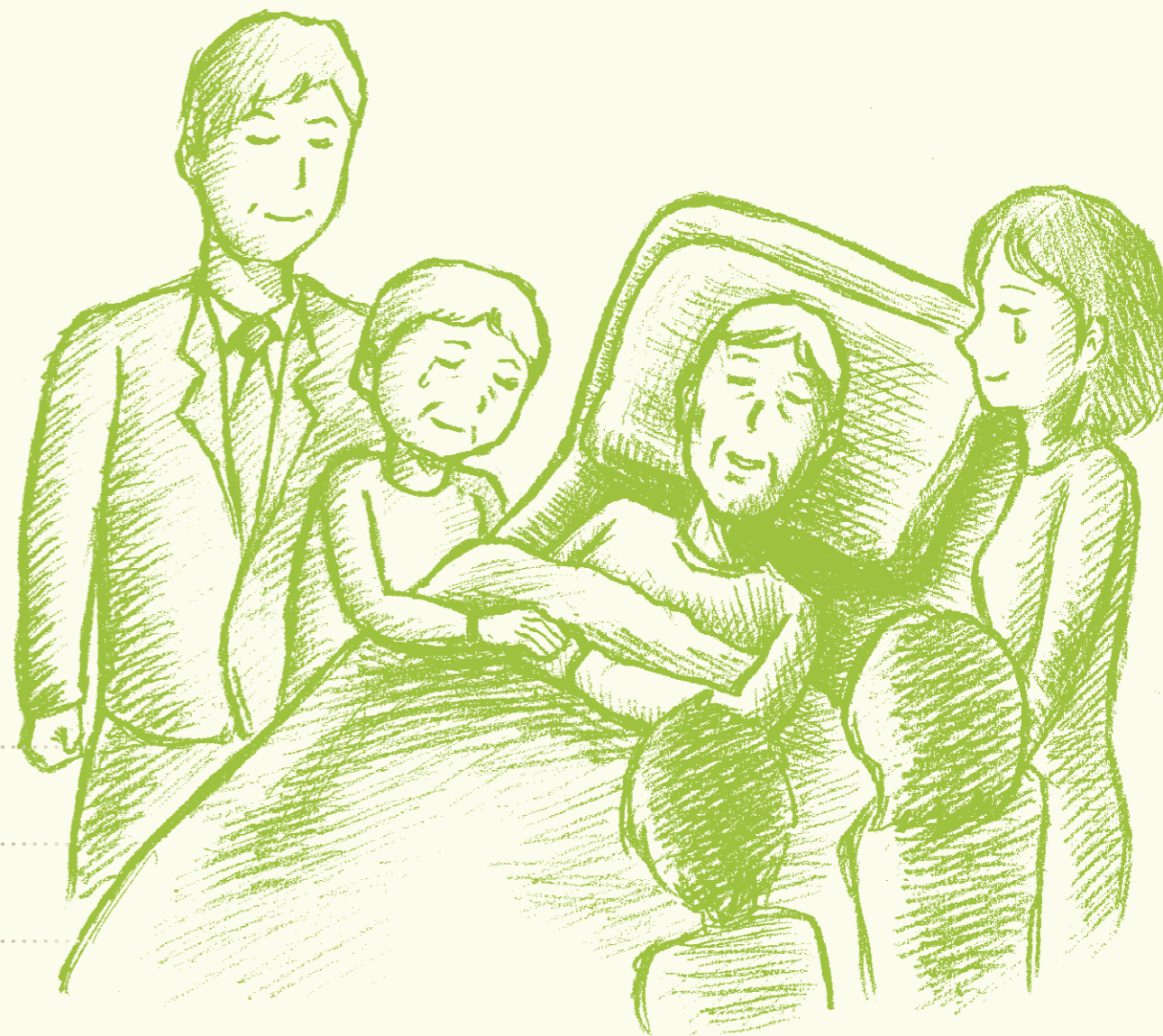
ただそばに寄り添っていられた

貴重な時間を無駄にしなかったのは

「すごく先のことだけど、いつかは訪れることなので」と

「あの時に月心友の会を勧めていただいたおかげです」

そして「家族としてお別れの時間を大切にすごせました」とも…



誰もが避けて通れない道ですが
 いろんな負担を軽くすることができ
 安心して大切な人の看取りに集中できたからだと思います。

（株）えひめセレモニー
 北条支部 担当者より

「故人様の人生という名の映画」

お葬式の中で宗教者の儀式が終わり

最後にお花を入れて故人様とのお別れに入る前の映像

故人のお孫さんが幼稚園でよく歌っていた曲が

スライド写真とともに流れていく…

「私の要望をすべて形にさせていただきとても感動しました」

「なかでも音楽の選曲に一番驚きました」

と喪主様からのお礼の言葉が綴られたお手紙

同じ人生を歩む方はいらっしゃいませんので

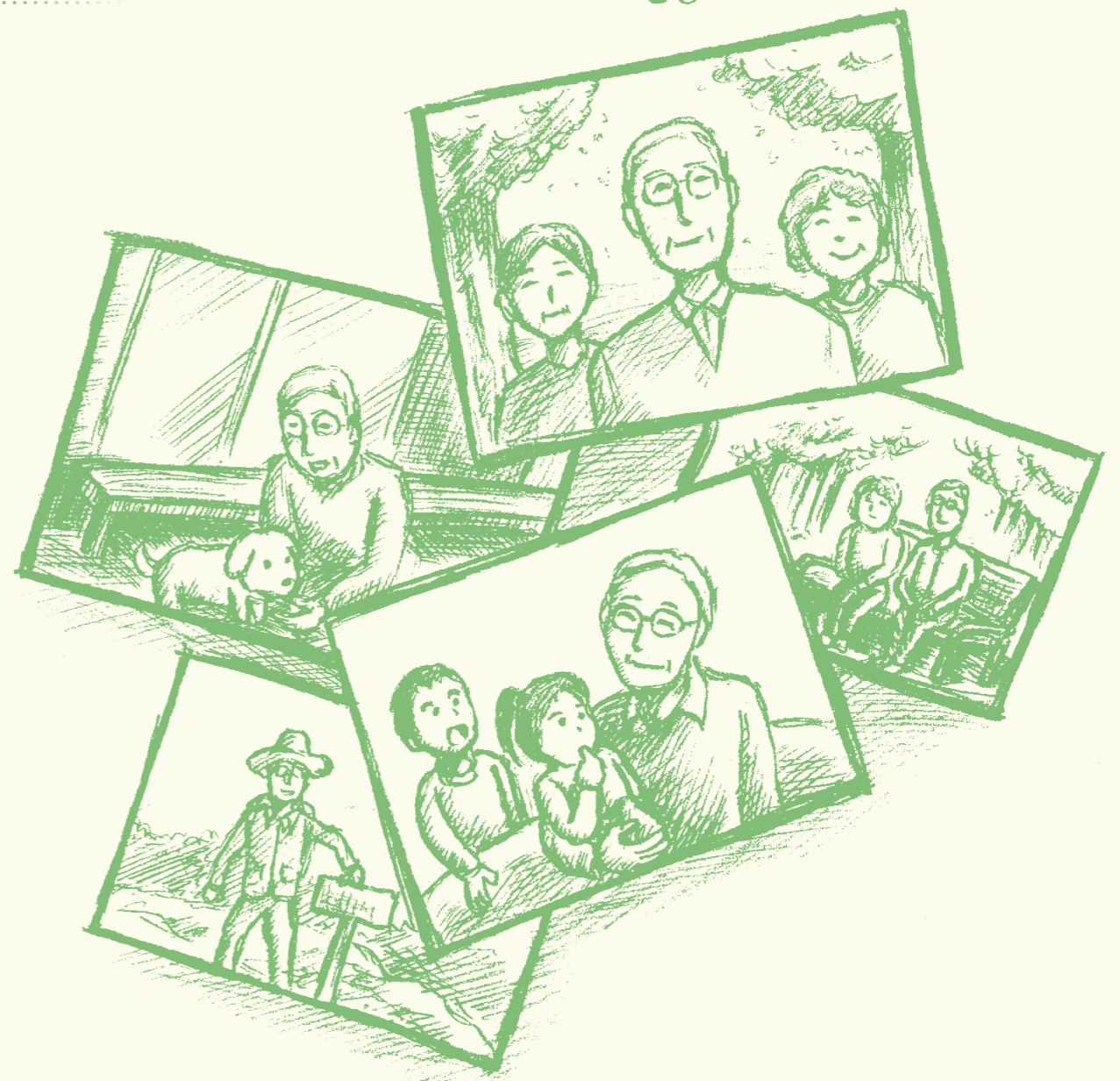
お見送りの映像は1件1件最初から考え製作します

その想いが伝わりお客様の送る気持ちと

リンクした瞬間でした

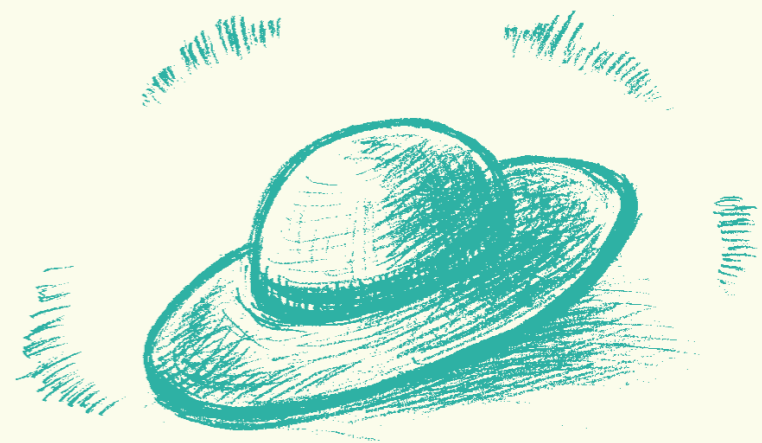
お客様が最高のお見送りができたと
思っ頂けることに自分自身も感動し
次回の仕事への励みとしています。

(株)公益社
担当者より



「家族の絆を強く感じた一時」

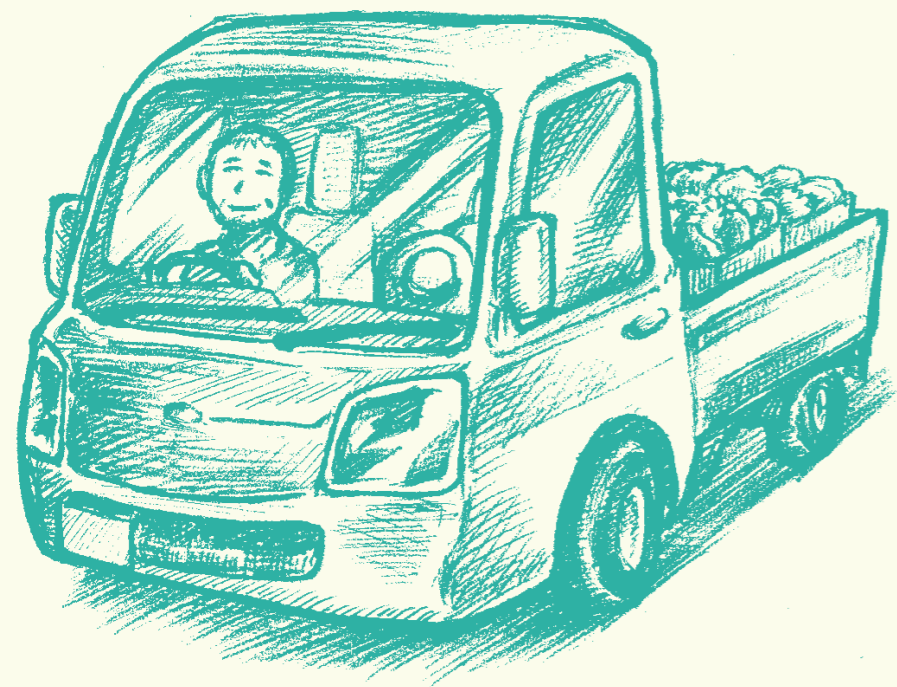
いつもフチのほころびかけた麦わら帽子を
 軽トラックの助手席に載せ、『行ってこうわい』と
 いそいそと畑仕事へ出かけていき、
 なすびやレタスなど、季節の野菜をいっぱい積んで帰宅
 体調を崩し、畑に出られなくなってからは、
 その麦わら帽子は軽トラックの助手席に置かれたまま
 葬儀の前日まで、倉庫に忘れ去られていた…



そして、葬儀の日、その麦わら帽子を会場の思い出コーナーへ
 参列したお孫さんたちは、麦わら帽子に気づき
 「あっ、これおじいちゃんの帽子じゃない!!」そう言って
 しばらくその前でおじいちゃんの思い出を語り合っていた

亡くなった方がどんなお人柄で、
 どんな人生を歩んでこられたか
 そしてどんな形でお見送りをさせていただくかが大切です。

(株)公益社
 担当者より



「天国へ流れる鍵盤ハーモニカ」

.....
おじいちゃんが好きだったお孫さん

.....
そして、お孫さんが好きだったおじいちゃん

.....
そのお孫さんの音楽発表会を

.....
元気になって見に行くことを約束していたおじいちゃん

.....
でも叶わなかった...

.....
病状が重くて、発表会のホームビデオを見ることもできなかった

.....
悲しくて、やるせなさが募るご家族

.....
そこで、葬儀の中でお孫さんに

.....
鍵盤ハーモニカを演奏してもらうことに

.....
「まさかこんな形でおじいちゃんの願いが叶うとは」

.....
天国のおじいちゃんが喜んでいる姿が目に浮かびます

.....
悲しい別れの時ですが
故人様を心から見送って差し上げるお手伝いがあったとき、
心からの感謝や笑顔をいただくことができます。

(株)公益社 葬祭部
月心会館 新川 担当者より





「より深く故人を思い出していたただくために」

故人の趣味はゴルフ

生前使用していたクラブを展示した追想コーナー

葬儀前に参列者の方々が故人との思い出を語り

そのご友人同士の会話がつながっていく

ご家族も最初は戸惑われていたのですが

「やっぱり展示して良かった」と

そして、葬儀がはじまる時のナレーションも自然とポエム調に…

ご遺族も、ご友人も

より深く故人を思い出していただけたのでしょうか

「今日の葬儀は本当に良かった」

「言葉でシーンがよみがえってきた」と

良いお葬式、お見送りができたかどうか？
葬家の方にはなかなか分からないと思います。
周囲の方からの声を聞いたとき初めて実感できるのだと思います。

(株)公益社 葬祭部
月心会館 港南 担当者より

